

⑤ 井山弘幸 著

『笑いの方程式：
あのネタはなぜ受けるのか』

(化学同人)

本書は、お笑いのネタをシナリオにして、科学的に分析しながら批評をしています。見て楽しむお笑いとはひと味違った、読んで楽しむお笑いです。

ネタの特徴で分類されていますので、笑いのテクニックを学ぶことができます。笑いの中にある意外な構造が見えてきます。さらに、練習問題まで付けられているところに驚きます。

今、人類に一番必要なもの、それは笑うことです。

779.14-Iya (N.K.)

⑦ 八木克正 著

『世界に通用しない英語：
あなたの教室英語、大丈夫？』

(開拓社)

副タイトルが「あなたの教室英語、大丈夫？」となっている本書は、学習文法を中心に、学校で学ぶ英語の問題点や教員採用試験問題、英和辞典の問題点、教室英語の改善策などに言及しています。英語を勉強する方は勿論、将来に教員採用試験の受験を目指す人にも役立つと思います。本書は『開拓社 言語・文化選書』の中の1冊ですが、他にも『言外の意味』(安井稔著)や、『ことばは壊れない』(久保田正人著)もありますので、参考にして下さい。

830.7-Yag (T.F.)



⑥ ジャン・メスキ 著、遠藤ゆかり 訳

『ヨーロッパ古城物語』

(創元社)

中世ヨーロッパの城がどのように作られ、使われたかをカラー図版と写真を使いながらわかりやすく解説しています。

まず城の外観がどのようなものであったか、そしてその実際の形としくみについて、城の中で営まれた日常や数々の伝説などが主な内容です。中世のヨーロッパにおいて城は街を守るための要塞であり、王族や貴族が住む住居でした。まさになくはならないものだったのです。このヨーロッパの古城から中世のヨーロッパの様子が垣間見られます。

523.3-Mes (S.S.)

⑧ 張恩涛、小針朋子 著

『暮らしの中国語表現5000：
何から何まで言ってみる』

(語研)

観光やビジネスなどで中国を訪問される方や日本においても中国の人々と接する機会はますます増えています。いざ、中国語で話す場面に遭遇したとき、言いたいことを正しく表現するのは難しいものです。

本書には、日常生活でよく使う中国語表現が場面別に5,000収録されています。発音はピンインとカタカナで表記されており、置き替えて表現できる関連単語も掲載されています。中国語初心者はもちろん、ある程度中国語の知識のある人にもお勧めします。

827.8-Cho (N.I.)